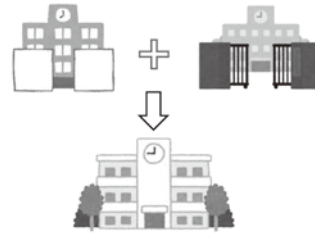




小学校の適正配置を

小学校の統廃合について



坂巻 文夫 議員

議員

28年に質問をしたが、当時の答弁は、小規模が今よりも一層進んで、仮に複式学級が続く場合は、将来的には適正配置を改めて考えるというものであり、市としては統廃合に前向きではないという印象を受けた。また、20年10月に設置した常総市立学校適正配置審議会が22年8月に答弁をしているが、答申が置いときぼりという状態は好ましくない。その後も、生徒数は25年が3494人、26年が3434人と、毎年40〜50人減少してい

る。現在における学校統廃合についての考えを伺う。

教育長

統廃合については、審議会の答申である「地域の考えを考慮して実施する」との提言を十分に考慮し、これからの教育環境や活動の状況と地域からの声をしっかりと受け止めながら、考えていきたい。また、基本台帳により、小学校区ごとに年齢別児童数を5年先まで算出したところ、10人を切る学年が現れ、一つの学校では複式学級が複数になり、それが継続されてしまふという状況が明らかに予想される。この状況を受け止め、児童生徒の将来を考え、教育委員会としてしっかりと対応できるように、地域の声を聞き、さらに学校の状況などを多面的かつ総合的に調査しておくことが急務であると考えている。

議員

これから、少しずつ進めていくという答弁と受け止める。子どもたちの教育は非常に大事な部分だから、早く進めていただきたい。また、現在、小学校は14校だが、本来であれば、内守谷を含めた15校あるべきものだということは覚えておいていただきたい。

□ 設 問 JOSOSHIGIKAYORI JOSOSHIGIKAYORI JOSOSHIGIKAYORI JOSOSHIGIKAYORI □ 設 問



徹底したガイドブックの普及を

常総市の目指す防災、減災について



遠藤 正信 議員

議員

「わが家の防災ガイドブック」が発刊され、配布から約2カ月が経過したが、その後の市民からの反応を伺う。

市長公室長

市民の方々からは、地域の防災訓練や勉強会において内容の説明をしてもらえないかという声をいただいている。

議員

各戸というか、各世帯者に配布してあるということだが、それでは自治会に加入していない人にはどういう形をとっている

のか伺う。

防災危機管理課長

公共施設及びカスミ等の店舗に設置している。

議員

自治会に加入したくても加入できない人もいます。未加入者の元には黙っていても届かない。今後、未加入者の自発的な行動に頼る部分についてどのように考えているか伺う。

防災危機管理課長

お声があれば窓口でもお渡しするし、ホームページにも掲載しているが、要請があれば郵送も行う。

議員

何とか全世帯にこのガイドブックを配れるような配慮をしていただきたい。これは要望で結構です。また、地域に向いてガイドブックの詳細な内容とともに勉強する会を開催していただきたい。将来的には全自治区に向いていただきたい。そういう形で市民に徹底するという考えはあるか伺う。

市長公室長

出前講座とか、市長が直接行く座談会等多くの機会がガイドブックの中身も説明できればと考えているが、全自治区という形での計画はまだない。